

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 稲沢商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考			
				指標	達成度		指標	達成度				自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法				
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の事業計画策定と実行支援をすめ、相談会・セミナーによる集団指導や個別指導等を通じて販路拡大に関する専門相談会の開催と金融・労務・税務を中心とした経営改善普及事業の更なる普及と利用促進を図る。	◎巡回指導実企業数 382社(うち非会員 8社) ◎巡回指導延件数 560社(うち非会員 8社) ◎窓口指導実企業数 189社(うち非会員 14社) ◎窓口指導延件数 331社(うち非会員 14社) ◎課題解決提案件数 40件 巡回 12社 窓口 28社	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 89.1%)		指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)		巡回窓口指導において、571事業所に対し延891回の支援・指導を実施した。巡回窓口指導において、目標値を下回ったが、本年は、未指導事業所を中心とする巡回に頼り、とくに課題提案を中心に指導したことにより、事業者の発展に寄与できた。		総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B		満足度	補足	目標
講習会事業(県費事業)	変化する経済環境への対応に苦慮する小規模事業者に対し、基本的な知識・技術の取得や時事問題への啓蒙、ならびに経営上で直面する問題解決に向けた個別専門相談により事業所の質的向上と円滑な事業運営に資する。	◎集団 経営一般4回20件/労働2回12件/金融1回6件 延参加小規模事業者数 46件 ◎個別 経営革新1回5件金融12回延17件/税務7回延57件/労働6回3件/その他1回1件 延参加小規模事業者数 83件	小規模事業者	指標	延参加事業所数 (達成度 72.0%)		指標	(達成度 %)		◎集団講習会は、共通する課題や問題意識に対し知識や技術の取得が容易となる。 ◎個別講習会は、事業者が抱える個別の問題課題に対し専門的な指導ができ、迅速な問題解決が可能になる。 ◎集団・個別講習会いずれも事業者の経営体質強化が図れ経営安定に寄与している。		総合評価	B	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	補助金申請にかかる経費削減セミナーを中心とした引き続き継続して開催していく。また、各支援機関と緊密に連携し、協力体制の強化を図り、迅速な相談事業の実施を目指す。
講習会事業(国庫事業)	経営発達支援計画を円滑に実施するための、①地域の経済動向調査②経営状況に分析③事業計画策定支援④需要動向調査を行い、調査結果を基に小規模事業者に対し支援強化を図る。	◎集団 経営革新5回46件 延参加小規模事業者数 46件 ◎個別 税務5回延15件/経営3回7件/経営革新1回4件 延参加小規模事業者数 26件	小規模事業者	指標	延参加事業所数 (達成度 120.0%)		指標	(達成度 %)		支援担当である職員の見学向上とセミナー開催への事業者への支援強化ならびに各種調査は予定どおりに実施ができた。		総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	平成29年度での事業結果をもとにデータを有効に活用し事業者への支援強化を推進していく。
記帳継続指導事業(記帳機械化)	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と源泉事務や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理により経営力の向上を図る。	◎記帳継続対象事業所 34事業者 ◎記帳機械化対面指導延回数 464回 ◎確定申告指導 51回 指導日数 212	小規模事業者	指標	記帳機械化対面指導延件数 (達成度 122.5%)		指標	(達成度 %)		会計ソフトによる仕訳や入力作業を行うことにより源泉事務等や帳務申告、滞り申告に際する事務処理の負担を軽減し、適正な申告納税と、決算書による財務分析等を通じて小規模等細企業の経営安定に寄与できる。		総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	記帳機械化事業の更なる推進と確定申告での事務簡素化とするe-taxの活用及び指導。
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興・発展を図るため若手後継者の育成支援を通じて経営の質的向上や地域社会の活性化に寄与する。	1. 青年部事業 開催回数53回(参加延数 458名) 2. 女性会事業 開催回数63回(参加延数 436名)	青年部 女性会会員 (小規模事業者)	指標	事業開催延件数 (達成度 116.0%)		指標	(達成度 %)		青年部・女性会事業により社会貢献や自己研鑽を通じ、経営者の質的向上と併せて地域社会の活性化に寄与した。		総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標	青年部・女性会においての自己研鑽と社会貢献事業などの地域活性化事業の展開。
地域振興祭事業(さくらまつり)	毎年4月上旬に国府宮神社参道において、稲沢市と共催事業として国府宮神社や文化協会の協力により実施している。メインイベントでは、市内の小売店が地域特産品を販売して観光客へ稲沢市のPRと地域振興に寄与している。	事業実施による延来場者数 4,500名 事業内容 ステージ、フリーマーケット、ミニ動物園、特産品販売 事業実施 平成29年4月1日(土)～10日(月) メイン日 1日(土)	・小規模事業者による出展者(出展により事業所PRができた)	指標	延来場者数 (達成度 45.0%)		指標	(達成度 %)		近隣市町村からの来場により、国府宮周辺の商業サービス事業者の売り上げ増に貢献できた。また、地域の振興と観光の活性化に寄与できた。		総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	地域活性化事業としての展開と小規模事業者の特産品ブースを特設。
地域振興祭事業(あじさいまつり)	平成3年に大塚性海寺の敷地内一部を稲沢市歴史公園に指定し通称「あじさい寺」として、県外からの観光客を募集している。あじさいまつりは、平成4年度から現在まで継続して実施している。	事業実施による延来場者数 48,000名 事業内容 ステージ、特産品販売、文化財開放 事業実施 平成29年6月1日(木)～18日(日) メイン日 10日(土)・11日(日)	・小規模事業者による出展者(出展により事業所PRができた)	指標	延来場者数 (達成度 96.0%)		指標	(達成度 %)		近隣の花木販売業者の出店や飲食業者の出店により営業の場を提供した。また、近隣市町村からの多くの人の来場により、会場近くの商業サービス事業者の売り上げ増が図れ、地域の振興と観光が図れた。		総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	地域活性化事業としての展開と小規模事業者の特産品ブースを特設。
地域振興祭事業(夏まつり)	平成8年度に実行委員会主体により稲沢公園にて市民夏まつりを開催してきた。平成28年度から、新実行委員会を構成し、祖父江サリオパーク周辺を会場として花火イベントを行う。	事業実施による延来場者数 50,000名 事業内容 ステージ、フリーマーケット、特産品販売 事業実施 平成29年8月26日(日)	・小規模事業者による出展者(出展により事業所PRができた)	指標	延来場者数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		市内飲食業者等の出店により営業の場を提供している。また、近隣市町村からの来場により、会場近くの商業サービス事業者の売り上げ増が図れるとともに地域の振興と稲沢市の観光の活性化に寄与した。		総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	多数の市内小規模事業者出展イベントであり、地域活性化事業として継続していく。
地域振興祭事業(稲沢まつり)	まつりの歴史も長く、今では秋の市民まつりとして定着し毎年10月中旬に開催し、ステージイベントや市内の企業ブースも充実し多くの来場者で会場が賑わうまつりである。	事業実施による延来場者数 45,000名 事業内容 ステージ、企業ならびに諸団体の展示販売 事業実施 平成29年10月14日(土)・15日(日)	・小規模事業者による出展者(出展により事業所PRができた)	指標	延来場者数 (達成度 37.5%)		指標	(達成度 %)		本年は、2日間とも天候が悪く来場者の足も遠の出展企業ブースは残念ながら効果は薄い結果となっていました。しかしながら来場した幼児から年配者まで楽しんで参加できるまつりとなっており稲沢市民はもとより近隣市町村の人々の重要な地域振興イベントとなっている。		総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	多数の市内小規模事業者出展イベントであり、地域活性化事業として継続していく。
観光振興事業	当地域では「国府宮はだかつり」や文化財・歴史遺産の宝庫であり、全国でも屈指の楠木・百木の一大生産地でもある。市内の観光資源を広く情報発信し、特産品開発と様々なイベント会場での販売を通じた文化振興やにぎわいづくりにより、地域産業の底上げを図る。	1. 特産品等認定商品 32事業所 51商品 2. 観光産業や資源の情報発信事業支援 3. 観光イベント(裸まつり、梅まつり、サンドフェスタ等)への協力支援 4. 特産品の販売と支援	小規模事業者及び中小企業者を中心とした商工業者、一般消費者	指標	特産品認定商品 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)		観光産業の振興と観光情報の発信、梅まつりなどのイベント協力や特産品販売を実施したことにより、地域振興や地域活性化に寄与し地域の賑わいに貢献できた。		総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	特産品認定商品を引き続き活用し、各イベント会場で積極的に参画し小規模事業者の支援をしていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

